

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成 24 年度福井県公共工事入札監視委員会（第 4 回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 25 年 3 月 27 日（水） 13:30 ～ 15:30
- 2 場 所 県庁 3 階 第 3 委員会室
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、藤井委員（五十音順） ※清水委員欠席

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

- (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明
 - ・低入札価格調査の状況について説明

Q 契約件数は平年並みの伸び率なのか。

A 過去の件数と照し合せても平年並みである。

(2) 抽出事案審議（事前に金崎委員が抽出）

ア 県営住宅下荒井団地 1 号館耐震改修工事

Q 総合評価結果一覧に記載されている評価対象外とはどういうことか。

A 入札金額により逆転する可能性がないため、評価対象外と記載している。

Q スリットを入れるとなぜ耐震性が強化されるのか。

A 壁と柱の際に隙間を設けることをスリットというが、これを設けることにより地震が起きた時に力が分散されるため耐震が強化される。

イ （県単）橋梁維持修繕工事

Q 今回の工事ですれど程度の寿命の延長を見込んでいるのか。

A 寿命が何年伸びるのかについては正確に判断できないが、劣化を少しでも遅らせるという効果は期待できる。

Q 県の橋梁の劣化点検はどれくらい進んでいるのか。

A 現在、目視点検は終了しており、特に劣化が激しい橋梁は把握している。現在は劣化を発見し、補修している状況だが、今後は予防的な補修対応をしていきたい。

ウ 街路工事（社会資本整備総合交付金）24-12工事

Q 総合評価基準の配置予定技術者の技術力の中にある継続学習への取組状況の項目は工種によって違うのか。

A 工種によって違う。同項目を設定しているのは、土木一式工事と鋼構造物工事、建築一式工事だけである。

エ 原子力災害制圧道路等整備工事（斜面对策）16024-6

Q 総合評価案件において、価格以外に総合評価の加点状況により落札したいという企業の努力は見られるのか。

A 福井県で資格を保有している技術者や講習会の参加者も増えている。工事成績においても全体的に上がってきた。

オ 平成24年度地すべり対策事業中山3期地区第2号工事

Q ボーリングした後は管を入れるのか。

A そのままでは潰れてしまうため、ボーリングしながら管を入れていく。

Q 工事が終わった井戸の維持管理はどこが行うのか

A 維持管理は福井県が行う。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が1件あり、談合の事実があったとは認められなかったと報告。

(4) その他

今後の入札監視委員会において、入札制度についての議論や勉強会ができるような工夫を検討してみてもどうかとの意見あり。